

令和5年度

東京都高齢者施設等のBCP策定支援事業

BCP実践講座

～BCPの研修・訓練について～



東京都福祉局
高齢者施策推進部施設支援課

**BCP
策定完了！**



**BCP
実行可能！**



1. BCPの研修方法が理解できる
2. BCPの訓練方法が理解でき、
自施設で実施する際の具体的なイメージを持てる



自施設・事業所のBCP研修/訓練の実施につなげる

はじめに 本日の内容

1. 令和3年度施設運営基準改正のポイント
～業務継続計画（BCP）策定取組～

2. BCP研修のポイント
・ 動画視聴/講義（企画～実施～振り返り～改善）

3. BCP訓練のポイント
・ 動画視聴/講義（企画～実施～振り返り～改善）

4. BCP机上訓練の演習
（1）自然災害BCP机上訓練の演習
（2）感染症BCP机上訓練の演習

5. BCMチェックシート

6. おわりに

はじめに タイムスケジュール

日程・時間	時間 (分)	内容
13:00~13:10	10	【講義】 1. 令和3年度施設運営基準改正のポイント
13:10~13:25	15	【講義】 2. BCP研修のポイント
13:25~13:40	15	【動画視聴】 3. BCP訓練のポイント
13:40~13:55	15	【講義】 3. BCP訓練のポイント
13:55~14:00	5	休憩
14:00~15:15	75	【演習】 4. BCP机上訓練 (1)自然災害
15:15~15:20	5	休憩
15:20~16:30	70	【演習】 4. BCP机上訓練 (2)感染症
16:30~16:45	15	5. BCMチェックシート/まとめ/質疑応答
16:45~17:00	15	個別相談のご案内/事後アンケート記入

1. 令和3年度施設運営基準改正のポイント
～業務継続計画（BCP）策定取組～

2. BCP研修のポイント

- ・ 動画視聴/講義（企画～実施～振り返り～改善）

3. BCP訓練のポイント

- ・ 動画視聴/講義（企画～実施～振り返り～改善）

4. BCP机上訓練の演習

- （1）自然災害BCP机上訓練の演習
- （2）感染症BCP机上訓練の演習

5. BCMチェックシート

6. おわりに

1

令和3年度施設運営基準改正のポイント～BCP策定取組

災害・感染症発生時に介護事業者求められる役割

利用者の安全確保

サービスの継続

職員の安全確保

介護事業者におけるBCPとは

自然災害や感染症が発生した場合などの非常事態においても、

- ① **業務を中断しない様に準備し**
- ② **重要業務を継続するため**

あらかじめ検討した方策を計画書として **明文化** したものの。

1

令和3年度施設運営基準改正のポイント～BCP策定取組

BCP策定取組に求められる3つの項目

1. 策定

自然災害と感染症

2. 研修

年2回以上 + 入職時※在宅系は年1回以上
実施内容の記録を残す

3. 訓練

年2回以上※在宅系は年1回以上



施設運営基準改正

令和3年度施設運営基準の改正において、**全てのサービス等事業者**にBCPの策定および研修・訓練の実施が**義務化**されました。令和6年3月31日までは努力義務ですが、それまでにBCPを策定し、研修や訓練を行なっていくことが必要となります。

1

令和3年度施設運営基準改正のポイント～BCP策定取組

BCP策定取組に求められる3つの項目の関連性



1

令和3年度施設運営基準改正のポイント～BCP策定取組

年間スケジュール(例)



* PPE : 個人防護具

- ✓ BCPの実効性を高めるためには、**計画的かつ継続的に運用していくことが重要**
- ✓ 他の研修/訓練計画も踏まえ、一体的にスケジュールを検討しましょう

1. 令和3年度施設運営基準改正のポイント
～業務継続計画（BCP）策定取組～

2. BCP研修のポイント

- ・ 動画視聴/講義（企画～実施～振り返り～改善）

3. BCP訓練のポイント

- ・ 動画視聴/講義（企画～実施～振り返り～改善）

4. BCP机上訓練の演習

- （1）自然災害BCP机上訓練の演習
- （2）感染症BCP机上訓練の演習

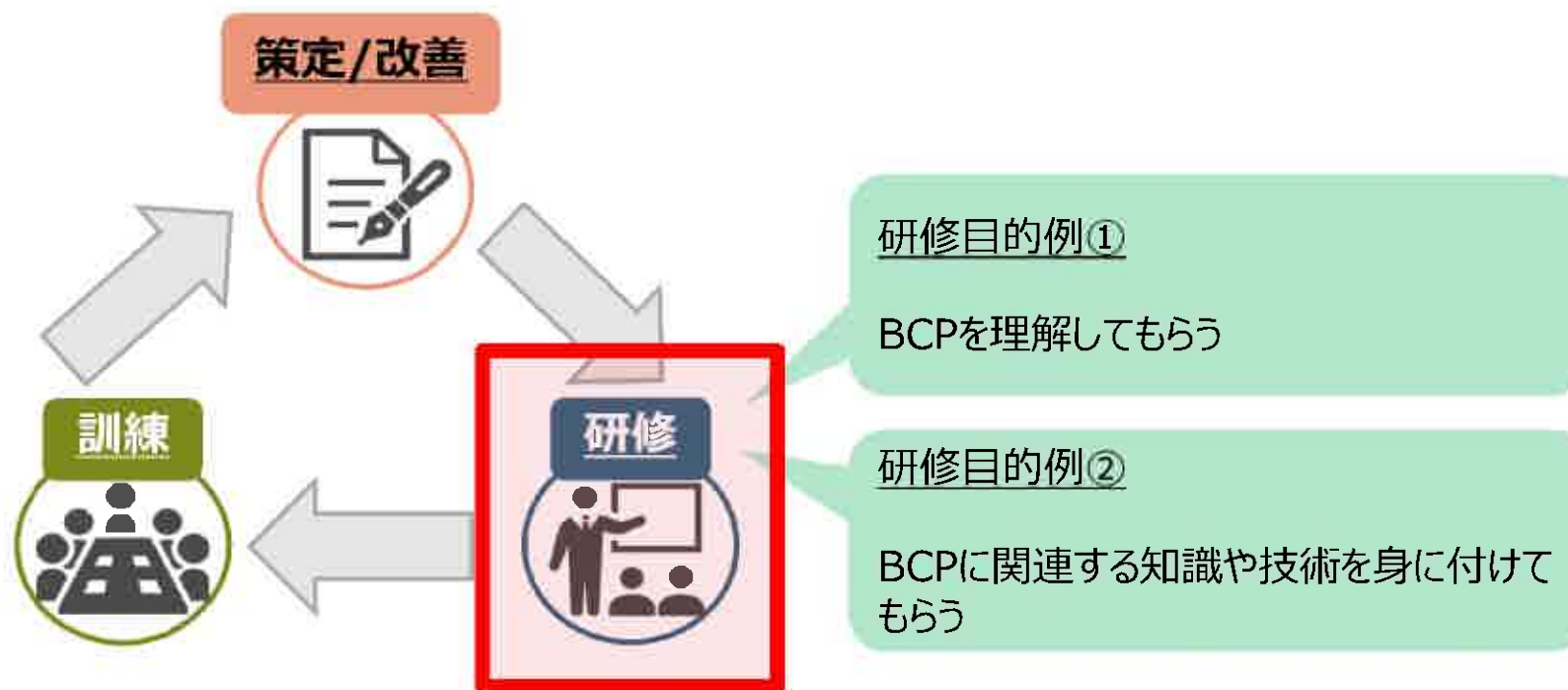
5. BCMチェックシート

6. おわりに

2 BCP研修のポイント

目的

自然災害、および感染症BCPの具体的な内容を、**職員間で共有すること**



方法

講義、ワーク形式、オンデマンド、eラーニング等

2

BCP研修のポイント

企画から実施後までの流れ



2 BCP研修のポイント

① 企画

研修企画で策定すべき項目とポイント

策定項目	ポイント
1 科目・テーマ	研修方針や年度の重点目標を念頭にテーマを設定する。
2 研修の目的	はじめに目的を知り文で簡潔書きにしてみる。要点を明らかにすることが大事。
3 研修の到達目標	目的とともに、到達目標を必ず設定する。講師との打ち合わせが円滑になる。
4 日時	ローテーション職場では夜間研修が参加率を高める。その際、出席が勤務にあたるのか、自主参加かを明確にする。なお、OFF-JTは勤務として行う研修を指す。
5 会場	職場内の会議室等で行うのが一般的。研修内容や参加者数により、教室形式以外のレイアウトや茶菓子を用意する等、アットホームな雰囲気を演出するとよい。
6 対象者	職場内の集合研修は、日常的な研修の機会が少ない非常勤職員やパート職員にとって有効。積極的に参加を促す仕組みを整えたい。
7 参加人数(規模)	職場内での集合研修は、参加者が既知のこともあり、個性や役割(力量等)が固定化されている場合が多い。少人数の参加が多いので、全員が発言できる工夫が大切。
8 講師(指導者)	外部講師の場合は、緊急連絡先(携帯電話番号)を必ず聞いておく。外部講師を招いた研修はP43を参照。
9 タイムテーブル	60分に1度は休憩をプログラムに入れたい。勤務明けは疲れているため、リラックスして受講できる配慮が大切。
10 活用する研修技法 (具体例はP40、41参照)	研修目的を実現するために効果的な研修技法を組み合わせる。講義法の他にグループ討議等の参加型技法を組み合わせると意欲が維持できる。
11 費用(講師謝金等)	講師謝金は法人の規程基準を決めておく。
12 教材、教具	外部講師の場合は、用意するのは講師か主催者(事業所)か等の役割分担を確認する。
13 評価・フォローアップの方法	参加者アンケートで受講者の習得度を測る。後日、上司コメントを得ることや発表会を行うことも方法。
14 担当者	事業担当者を確認する。

目的の明確化

ガイドブック3ページ

- 誰に？
- 何を？
- 学んでほしいのか？

例) レベル1 : BCPの概念、概要の理解
施設のどこにBCPが置いてあるのか、
報告ルート、報告基準の理解

レベル2 : BCPの初動対応の理解、
優先業務の理解



出典：小規模事業所のための職場研修の手引_平成26年11月_東京都保健福祉局
<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kiban/fukushijinzaiteichakuikusei/jigyoshashien/tebiki.html>

2

BCP研修のポイント

① 企画

研修技法	概要	長所	短所				
講義法	知識や情報を伝達する	効率よく知識を習得できる	単調になりがちである				
討議法	問題解決能力等を養う	主体的な参加で気づきが得られる	知識の習得の効率性は劣る				
理解促進討議法	テストと討議で、原理原則の理解を深める	討議法より知識の習得や気づきに優れている	テスト問題を作る手間がかかる				
事例研究法	事例討議で疑似体験や原理原則を確認する	課題分析に優れている	事例を考える手間がかかる				
ロールプレイング	基本動作や応用動作等の技術向上を図る	動作確認に優れている	知識の習得には不向きである				
研修ゲーム	ゲームを通じて、体験的に技術向上を図る(手法は次頁を参照)	体験による満足感が高い	ゲームを自前で作るのは難しい				
自己診断法	【研修技法を組み合わせた研修形態の例】						
その他の技法	1	オリエンテーション	基調講義	個人ワーク ・課題を分析(自己診断法・事例研究法など使用)	グループワーク ・個人ワークの結果を持ち寄り討議	まとめ	【講義先行A型】 講義で効率的に知識を習得し、ワークで具体化。基本的な形態。
	2	オリエンテーション	基調講義	グループワーク	個人ワーク ・討議結果を受けて個人でまとめる	まとめ	【講義先行B型】 講義の後、討議で問題を浮き彫りにして、個人ワークでまとめる。
	3	オリエンテーション	グループワーク ・具体的な取り組みを交換	個人ワーク ・討議結果を受けて個人でまとめ	講義 ・課題整理、まとめの講義	まとめ	【ワーク先行型】 難解なテーマのときに有効。体験から抽象化し理解に至る形態。
	4	オリエンテーション	個人ワーク ・振り返り	講義 ・具体的な講義を心がける	グループワーク ・討議で理解を深める	まとめ	【内省先行型】 研修意欲が低い時や馴染みのないテーマを扱う場合に有効。

方法の選択

ガイドブック4,5ページ

- 研修の目的やねらい、テーマの難易度、参加者のレベル・意欲、参加人数等に応じて**研修技法を組み合わせましょう**

講師

ガイドブック4,5ページ

- テーマに応じた講師の選定
- 研修テーマに応じて、外部講師やeラーニング等の活用も有用

出典：小規模事業所のための職場研修の手引_平成26年11月_東京都保健福祉局

<https://www.fukushihoken.metro.tokyo.lg.jp/kiban/fukushijinzei/teichakuikusei/jigyoshashien/tebiki.html>

2 BCP研修のポイント

② 実施

進行

ガイドブック8ページ

- 進行具合に気を配る
- 参加者の反応を確認しながら進行する

実施記録

ガイドブック8ページ

- 実施内容の記録を残し、適切に保管する

2

BCP研修のポイント

③ 評価

研修の評価

ガイドブック9ページ

参加者による自己評価

- **研修目的の達成度について、参加者自身が評価する**
→定性的(点数化)方法と、定性的(自由記述)方法を目的に応じて効果的に活用する。
- **研修方法や内容に関する評価も得る**

企画運営側による客観的評価

- **研修目的の達成度について、客観的に評価する**
→研修中の参加者の様子
→確認テスト等、定量的・定性的評価の活用
- **研修方法や内容に関する評価も行う**

総合評価

- **評価指標を統一することで、前回(または次回)の研修結果や他研修との比較も可能**

2 BCP研修のポイント

④ 改善

改善

ガイドブック10,11ページ

- 評価で得られた課題を整理する
 - 課題をどのように改善するかを明確にし、**次回研修に反映する**
 - 課題をどのように反映するか明確にし、**訓練企画につなげる**
- 着実に研修の改善、訓練への反映が進められる**運用体制を築くことが重要**



1. 令和3年度施設運営基準改正のポイント
～業務継続計画（BCP）策定取組～

2. BCP研修のポイント
・ 動画視聴/講義（企画～実施～振返り～改善）

3. BCP訓練のポイント
・ 動画視聴/講義（企画～実施～振返り～改善）

4. BCP机上訓練の演習
（1）自然災害BCP机上訓練の演習
（2）感染症BCP机上訓練の演習

5. BCMチェックシート

6. おわりに

3

BCP訓練のポイント

DVDパート3 視聴(机上訓練)

3

BCP訓練のポイント

目的

- 自然災害/感染症発生時に、**迅速かつ適切に行動できるようにすること**
- BCPをより実効性の高いものにするため、**課題を洗い出し、BCPの改善につなげる**こと



3

BCP訓練のポイント

企画から実施後までの流れ

① 企画

- 基本設計（目的の明確化・方法の選択）
- 実施計画(状況設定など)の作成
- 訓練の事前準備

② 実施

- 進行管理
- 各役割
- 実施記録の作成

③ 評価

- 訓練結果の振り返り
- 総合評価

④ 改善

- 課題の整理
- 訓練の改善
- BCPの改善

3

BCP訓練のポイント

① 企画

目的の明確化

ガイドブック13ページ

- 誰に？
- 何を？
- 学んでほしいのか？ / どのような行動をできるようになってほしいのか？

例) レベル1 : 決められたことを確実にできるようにする(BCPの範囲内)

レベル2 : やるべきことを柔軟に発想できるようにする(BCPの範囲外)

訓練方法の選択

ガイドブック14ページ

- “目的” + “参加者のBCPに関する習熟度”に適した方法を選択する

例)

実動訓練

机上実施

実動 + 机上訓練の組み合わせ

3

BCP訓練のポイント

① 企画

訓練方法の選択

ガイドブック14ページ

- 参考：各訓練方法の特徴

	実動訓練	机上訓練
特徴	<ul style="list-style-type: none"> 自然災害においては避難、感染症においてはゾーニング等、実際に人や物を動かして実施する訓練 現場において実際に練習を行い技術の習得・習熟を図る 	<ul style="list-style-type: none"> 口頭や文書により机上で進行する訓練 状況を想定したシナリオに沿って、情報共有や意思決定等ができるかを検討
メリット	<ul style="list-style-type: none"> 実際にかかる時間等、机上訓練では見えない課題の明確化ができる 対応方法のより実地的な習得・習熟が期待できる 	<ul style="list-style-type: none"> 最小限のメンバーで実施可能 短時間で多くの項目の検討ができる
適する目的	<ul style="list-style-type: none"> 現場の状況や実際かかる時間等、机上訓練では見えない課題の明確化 現場での対応方法の習得・習熟 	<ul style="list-style-type: none"> 策定したBCPの確認及び改善 BCPの手順の理解 災害/感染症発生時への意識の醸成
内容と方法	<ul style="list-style-type: none"> 対策本部の立ち上げ 緊急連絡網訓練等、発生場面を設定した一連の対応訓練 感染症BCPの場合は、感染者発生時の隔離方法、ゾーニングの実施訓練等 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者、職員の安全確保・安否確認 時系列での役割分担の確認 計画の手順や優先順位の確認 具体的な場面設定や想定の下、計画の実施可否の検討 等

3

BCP訓練のポイント

① 企画

実施計画

ガイドブック15ページ

- **テーマ（参加者に取り組んで欲しい具体的な課題）の設定**
→ **評価可能**な課題設定が重要
- **自然災害時の被害/感染症発生時の影響の設定**
→ **リアリティ**が重要
→ 施設の経営・運営にとって **優先順位が高い**状況設定が重要
- **シナリオ（時系列的変化）、プレイヤー（参加者の役割となる登場人物）、状況付与の設定**
→ **目的・テーマが達成できる設定**をすることが重要
→ 参加者が **どのような情報分析を行うことをねらいとするか**、明確にする

訓練の事前準備

ガイドブック16ページ

- **運営準備**
- **参加者に対する事前の周知**
→ 事前にBCPおよび訓練概要を伝え、理解を深めておいてもらう

3

BCP訓練のポイント

② 実施(机上訓練_ワークショップ訓練)

訓練の進行

ガイドブック18ページ

- **参加者に実施方法やルールの周知徹底する**
 - 目的・テーマに応じたグループ編成を行うことが重要
 - 訓練開始前に、訓練の目的・テーマ、前提条件、訓練内での役割、訓練のルール、スケジュールの理解を徹底する

各役割

ガイドブック18ページ

- **進行者**：参加者の発言を引き出す
- **参加者**：情報を分析・推定してグループとしての対応を検討していく
- **参加者への助言者**：訓練を円滑に行うため、参加者へ助言、誘導を行う

実施記録

ガイドブック18ページ

- **実施内容の記録を残し、適切に保管する**

3

BCP訓練のポイント

③ 評価

訓練結果の振り返り

ガイドブック19ページ

- **訓練終了時に参加者全員で意見交換する**
→決まった形式はなく、自由に発言できるように進める
- **訓練内の対応について、他グループの発表も踏まえBCPの改善の余地を検討する**
→外部の専門家等の活用も有用
- **訓練自体の評価、検証も行う**
→次回の訓練につなげる

総合評価

ガイドブック20ページ

- **参加者の自己評価**：定性的(点数化)方法と、定性的(自由記述)方法がある
集計後の目的や活用方法に照らして項目を設定する
- **企画・運営側の他者評価**：訓練目的やテーマの達成状況に対する評価と、参加者の行動に対する評価などがある
- **評価指標を統一することで、前回(または次回)の研修結果や他研修との比較も可能**

BCPの課題の抽出

3

BCP訓練のポイント

④ 改善

訓練の改善

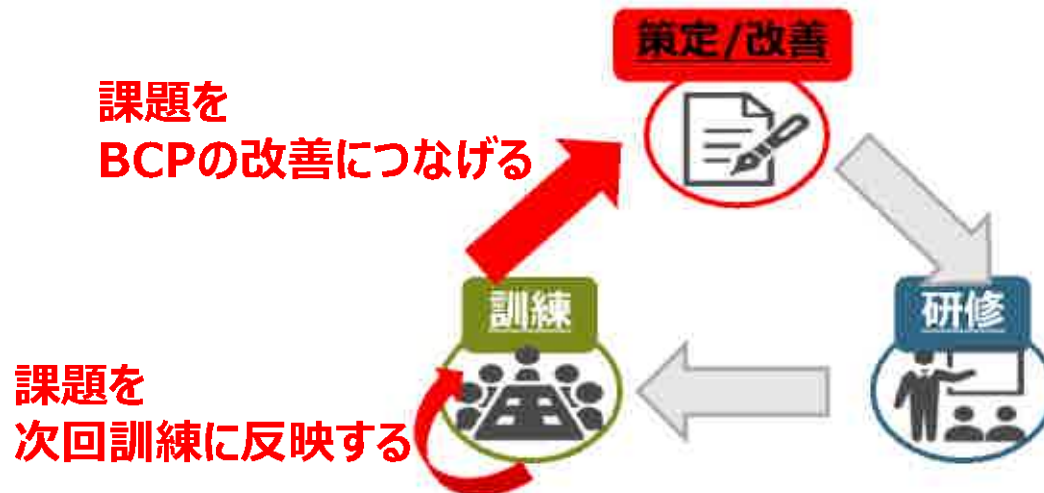
ガイドブック22ページ

- 訓練自体の課題は、担当者内でどのように対応するか明確にし、次回訓練企画に反映する

BCPの改善

ガイドブック23ページ

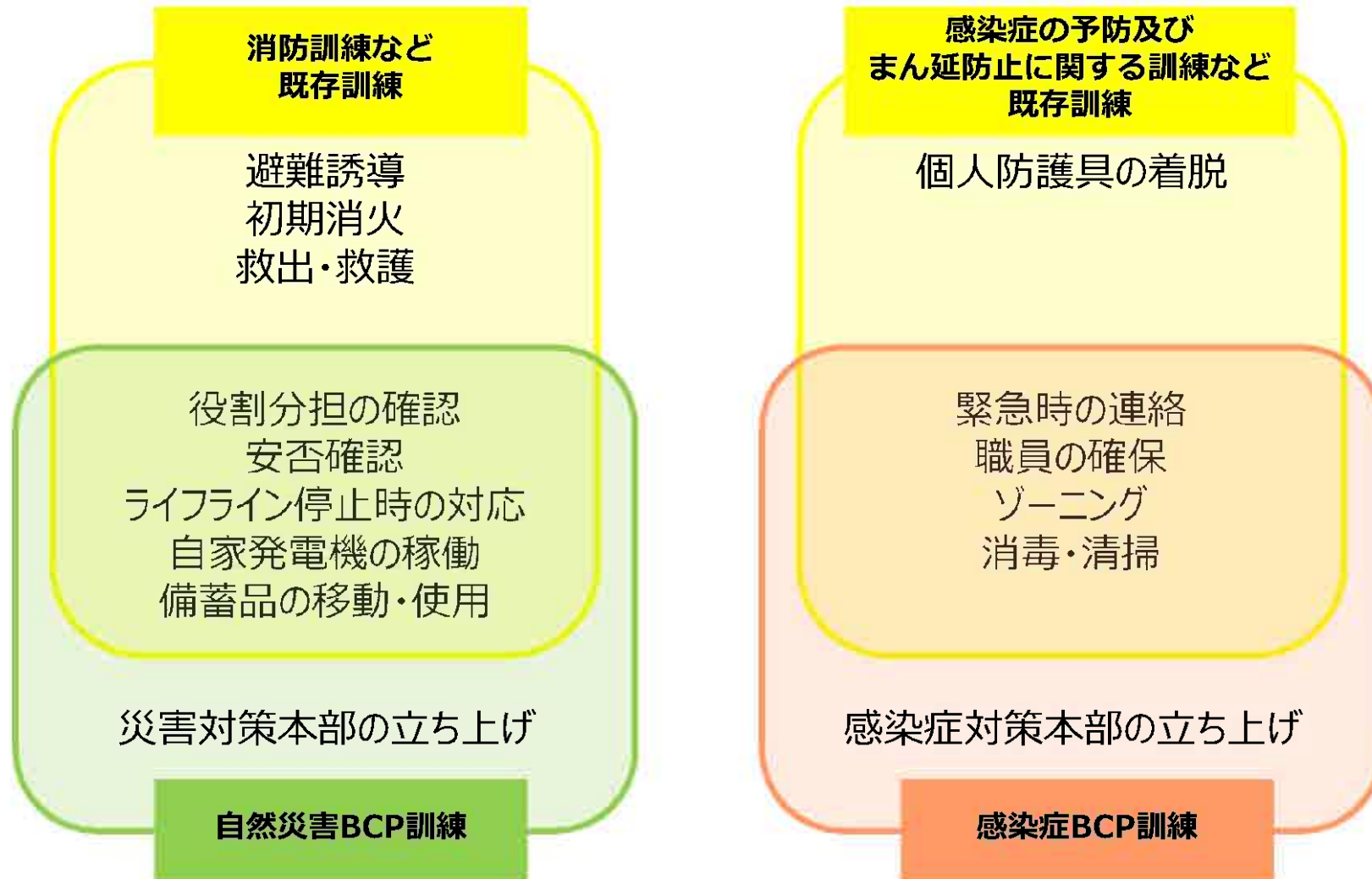
- 課題点についての対策は、**優先順位**をつけ、**いつ、誰が実施するか**を明確に計画し、**進捗管理**する
→着実に対策が進められる運用体制を築くことが重要
- 対策を講じた項目は次回の訓練で対策が十分か検証する



3

BCP訓練のポイント

既存訓練との一体的な実施について



1. 令和3年度施設運営基準改正のポイント
～業務継続計画（BCP）策定取組～

2. BCP研修のポイント
・ 動画視聴/講義（企画～実施～振り返り～改善）

3. BCP訓練のポイント
・ 動画視聴/講義（企画～実施～振り返り～改善）

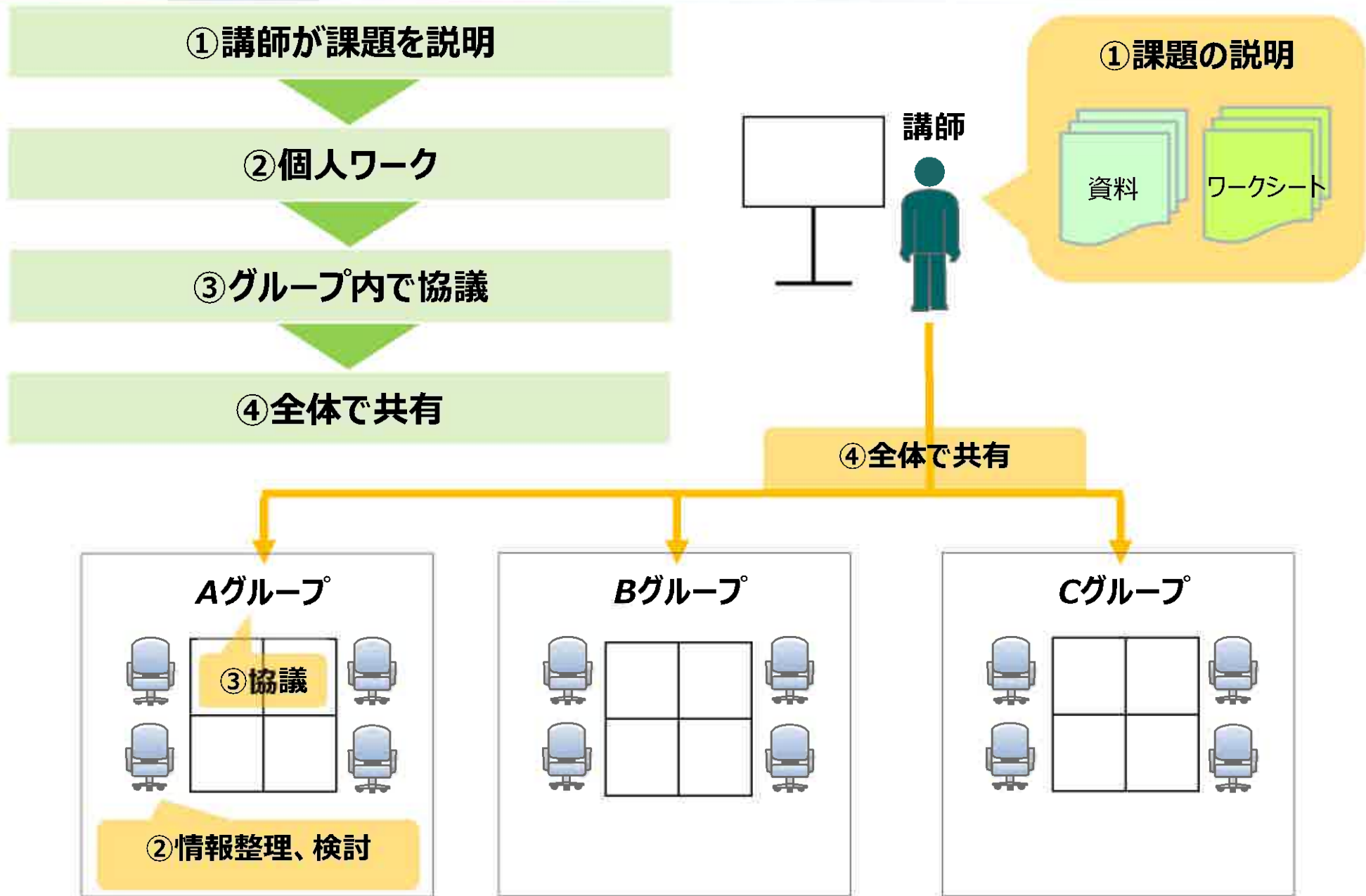
4. BCP机上訓練の演習
（1）自然災害BCP机上訓練の演習
（2）感染症BCP机上訓練の演習

5. BCMチェックシート

6. おわりに

4

BCP机上訓練の演習の進め方



4

演習における設定

施設概要

- 施設名 : 特別養護老人ホーム 東京ホーム
- 施設建屋 : 新耐震鉄筋コンクリート造3階建て(入居施設は2、3階のみ)
- 利用者 : 50名(うち2階利用者26名)
 - 【2階利用者の内訳】 要介護度5 : 6名
 - 要介護度4 : 9名
 - 要介護度3 : 11名
 - 喀痰吸引、酸素吸入等医療的ケアが必要な利用者 : 6名
- 当日日勤職員数 : 28名
 - 【内訳】 施設長1名
 - 生活相談員1名
 - 介護支援専門員1名
 - 看護職員2名
 - 機能訓練指導員1名
 - 介護職員18名
 - 管理栄養士1名
 - 厨房職員2名
 - 事務員1名

4 演習における設定

施設の住所

東京都千代田区神田淡路町

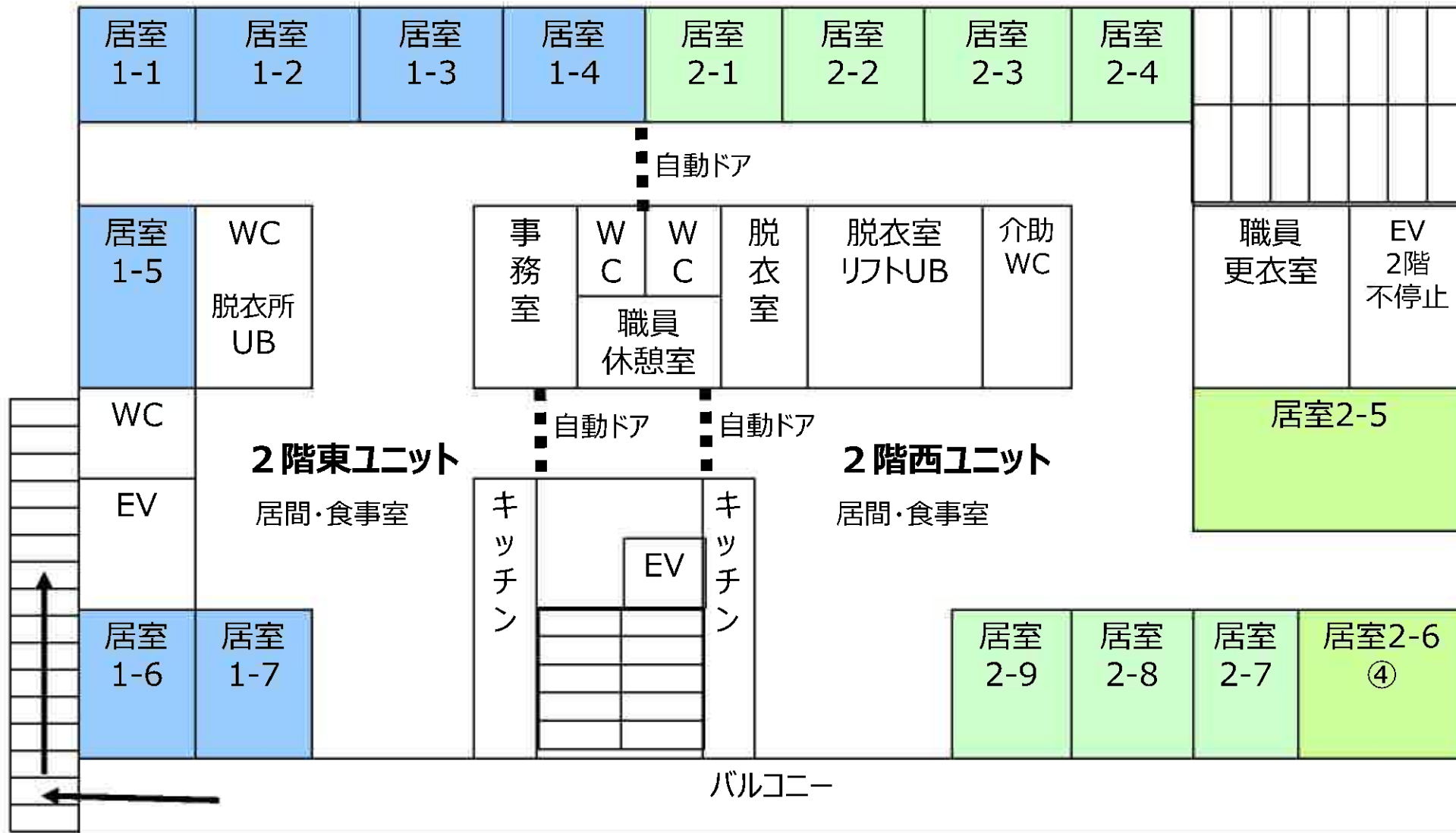


4

演習における設定

施設の間取り図_2階

2-6のみ4人部屋、他全室2人部屋



1. 令和3年度施設運営基準改正のポイント
～業務継続計画（BCP）策定取組～

2. BCP研修のポイント
・ 動画視聴/講義（企画～実施～振り返り～改善）

3. BCP訓練のポイント
・ 動画視聴/講義（企画～実施～振り返り～改善）

4. BCP机上訓練の演習

（1）自然災害BCP机上訓練の演習

（2）感染症BCP机上訓練の演習

5. BCMチェックシート

6. おわりに

4 (1) 自然災害BCP机上訓練の演習

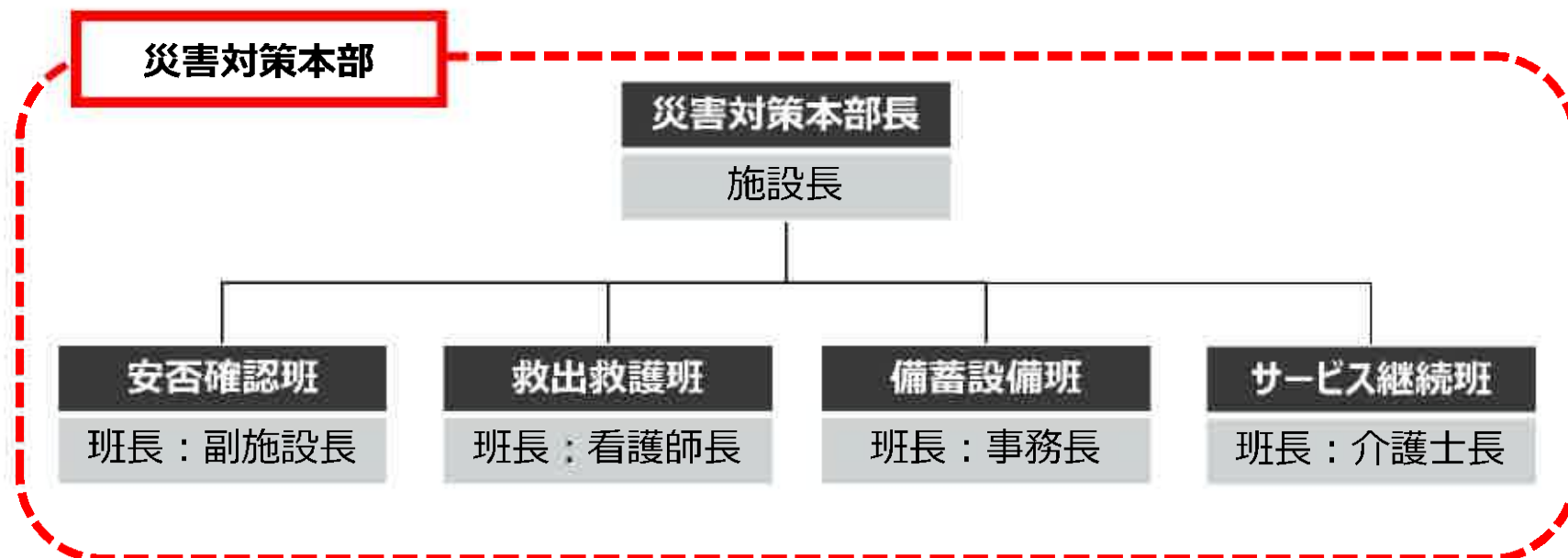
目的

- 災害対策本部に必要とされる役割を確認する。
- 地震発生時の業務継続方法を検討する。

4 (1) 自然災害BCP机上訓練の演習

訓練の対象

- 赤い点線で囲まれた災害対策本部を対象とする。



ー演習 1 (グループワーク)ー

ワークシート1

各グループにて自己紹介し、災害対策本部の役割を決めて下さい。

※人数が足りない場合は、対策本部長の対応なしとして下さい。



4 (1)

自然災害BCP机上訓練の演習

状況付与

“地震発生3分後の施設にて、災害対策本部を設置し役割を確認する”

緊急地震速報が発表されました。

揺れはだんだん大きくなり、立っているのが難しいほどの大きな揺れが約1分弱ほど続きました。揺れが収まり周囲を見渡すと、いくつかのキャビネットが倒れ、窓ガラスにひびが入っているところもあるようですが、施設の建物自体には大きな損傷はなさそうです。

地震の発生により職員や利用者に不安が広がっています。職員の中には、事前に決められた緊急時の役割を自発的に行っている者もいれば、茫然としている者もいます。恐怖心から施設外に避難しようとする利用者もいます。

スマホでのニュース

- 日時：7月7日（金）14:00
- 震度：最大震度7（施設が所在する千代田区の震度：6弱）
- この地震による津波の心配はありません

4 (1)

自然災害BCP机上訓練の演習

ー演習 2 (個人ワーク)ー

ワークシート2

演習 1 で決めた自身の役割において、どのような初動対応をすべきか
項目を洗い出して下さい。

特にサービス継続班は最重要業務(継続すべきサービス)は何かを考えてください。



役割	班長	主な対応事項	具体的な項目
対策本部長	施設長		
安否確認班	副施設長		
救出救護班	看護師長		
備蓄設備班	事務長		
サービス継続班	介護士長		

ー演習 2 (グループワーク)ー

ワークシート2

それぞれの役割について災害対策本部内で共有し、施設全体の初動対応を
確認してください。



4(1)

自然災害BCP机上訓練の演習1解説

-演習2-災害対策本部の初動対応 記載例/解説

ワークシート2

	各班の主な対応事項	ポイント
対策本部長	<ul style="list-style-type: none">施設内外の状況把握避難/待機/帰宅の判断危険区域立入判断帰宅/待機の指示近隣住民への対応	<ul style="list-style-type: none">被害の全体像の把握外部状況の確認(交通状況、津波など)避難か施設待機か、面会/訪問者や勤務交代者の帰宅可否の判断(帰宅可能な範囲、危険情報の提供、帰宅者の記録、帰宅後の報告など)立入判断(人命救出、忘れ物の取得)近隣住民への避難スペース提供、備蓄支援等への対応
安否確認班	<ul style="list-style-type: none">施設内にいる全ての人の安否確認/集計不明者対応	<ul style="list-style-type: none">利用者、面会/訪問者、職員、不明者の正確な把握不明者の搜索指示上記内容の本部への報告

4 (1)

自然災害BCP机上訓練の演習

-演習2-災害対策本部の初動対応 記載例/解説

ワークシート2

	各班の主な対応事項	ポイント
備蓄設備班	<ul style="list-style-type: none"> 施設の被害状況の把握 ライフラインの状況確認 危険区域立入の設定 トイレ対応 備蓄品の状況確認 	<ul style="list-style-type: none"> 建物確認のルート、手順指示 ライフライン状況の分担確認指示 危険区域/安全なスペースの把握と使用の指示 トイレ(仮設、簡易)の配備、廃棄物処理 上記内容の本部への報告
救出救護班	<ul style="list-style-type: none"> 安否確認班と連携し、要救助者への救助指示 医療機関への救急搬送等の判断・指示 救出対応/負傷者対応 体調不良者への対応 	<ul style="list-style-type: none"> 救急搬送の判断と搬送までの応急処置 傷病者の把握と応急処置の指示 環境変化や医療器具の不具合等による体調不良者の確認と対応指示 上記内容の本部への報告
サービス 継続班	<ul style="list-style-type: none"> 入所者対応の指示 提供するケアの調整、実施方法の指示 	<ul style="list-style-type: none"> 優先業務の選定と継続方法の検討（医療的ケア・排せつ） 普段と異なる状況で落ち着かない入所者等、配慮や見守りを要する利用者への対応体制を検討 職員の人数把握と業務調整の指示

4 (1) 自然災害BCP机上訓練の演習

状況付与

“地震発生から1時間後の施設にて、 各業務の具体的な継続方法を検討する”

地震発生から1時間が経過し、徐々に被害の状況が明らかになってきました。

- 入所者 : 軽傷者3名(打撲、擦り傷程度)、重傷者0名
- 面会者 : 2名、負傷者なし
- 外部関係者(出入り業者等) : 0名

- 職員数 : 14名(平時の50%) 軽傷者1名(擦り傷)、重傷者0名
【内訳】施設長1名、生活相談員1名、介護支援専門員1名
看護職員1名、機能訓練指導員1名、介護職員9名

- ライフライン
 - ◆電力 : 停電 ◆上水道 : 断水 ◆下水道 : 使用不可 ◆ガス : 供給停止
 - ◆電話 : 非常につながりにくい状態、SNSによる通信は可能
 - ◆鉄道 : 運転を見合わせ

4 (1)

自然災害BCP机上訓練の演習

ー演習3 (個人ワーク)ー

ワークシート3

演習1で決めた自身の役割において、以下の業務を継続するために
どのように対応すべきか記載して下さい。

特に平時と異なる点を意識しながら、「どのように」という手順を具体的に考えてください。

- ① 医療的ケア・与薬
- ② 排せつ
- ③ 勤務時間外職員の安否確認



業務	担当者	主な対応事項	対応手順
医療的ケア・与薬			
排せつ			
勤務時間外職員の 安否確認			

ー演習3 (グループワーク)ー

ワークシート3

それぞれの役割について災害対策本部で共有し、施設全体の業務継続方法を
確認してください。



4(1)

自然災害BCP机上訓練の演習

-演習3-業務継続方法 記載例/解説①医療的ケア、服薬

ワークシート3

- ✓ 医療的ケアが必要な利用者、およびケアの優先度の洗い出し
- ✓ 特に**電気が必要な医療機器**の使用状況とバッテリーの稼働時間を把握し、自家発電機の有無も含め、電気の調達方法あるいは搬送等を検討する
- ✓ 服薬管理について、利用者・担当者のリスト化、各利用者の薬の在庫の確認を行う



停電時の医療的対応も想定し、BCPに記載しておきましょう

4(1)

自然災害BCP机上訓練の演習

-演習3-業務継続方法 記載例/解説②排せつ

ワークシート3

- ✓ トイレの使用禁止の案内(利用者/職員)
- ✓ 簡易トイレ、ポータブルトイレの設置場所(利用者/職員)、使用/介助方法の周知
- ✓ 生理用品の設置
- ✓ 汚物や使用済みオムツ等の保管場所、ルート、保管方法、運搬/管理担当者



平常時の準備対応として
BCPに記載しておきましょう

4(1)

自然災害BCP机上訓練の演習

-演習3-業務継続方法 記載例/解説③時間外職員の安否確認

ワークシート3

- ✓ 勤務時間外の職員との連絡方法は複数用意し、周知徹底する
- ✓ 連絡が取れなかった場合の本部側の対応、職員側の対応も明らかにする
- ✓ 職員の参集基準も踏まえ、次の勤務帯からのシフト調整方法を検討する

1. 総論	2. 平常時の対応	3. 緊急時の対応	4. 他施設との連携
(1) 基本方針	(1) 建物・設備の安全対策 ①人が常駐する場所の耐震措置 ②設備の耐震措置 ③水害対策	(1) BCP発動基準	(1) 連携体制の構築 ①連携先との協議 ②連携協定書の締結 ③地域のネットワーク等の構築・参画
(2) 推進体制	(2) 電気が止まった場合の対策 ①自家発電機が設置されていない場合 ②自家発電機が設置されている場合	(2) 行動基準	(2) 連携対応 事前準備 入所者・利用者情報の整理 共同訓練
(3) リスクの把握 ①ハザードマップなどの確認 ②被災想定	(3) ガスが止まった場合の対策	(3) 対応体制	
(4) 優先業務の選定 ①優先する事業 ②優先する業務	(4) 水道が止まった場合の対策 ①飲料水 ②生活用水	(4) 対応拠点	
(5) 研修・訓練の実施 BCPの検証・見直し ①研修・訓練の実施 ②BCPの検証・見直し	(5) 通信が麻痺した場合の対策	(5) 安否確認 ①利用者の安否確認 ②職員の安否確認	
	(6) システムが停止した場合の対策	(6) 職員の参集基準	
	(7) 衛生面(トイレ等)の対策 ①トイレ対策 ②汚物対策	(7) 施設内外での避難場所・避難方法	5. 地域との連携
	(8) 必要品の備蓄 ①在庫量、必要量の確認	(8) 重要業務の継続	(1) 被災時の職員派遣
	(9) 資金手当て	(9) 職員の管理 ①休憩・宿泊場所 ②勤務シフト	(2) 福祉避難所の運営 ①福祉避難所の指定 ②福祉避難所開設の事前準備
		(10) 復旧対応 ①破損個所の確認 ②業者連絡先一覧の整備 ③情報発信	
		【通所サービス固有事項】	
		【訪問サービス固有事項】	
		【居宅介護支援サービス固有事項】	

職員の参集基準も踏まえて
BCPに記載しておきましょう

4 (1) 自然災害BCP机上訓練の演習

振り返り

今回の演習では以下の2点について訓練の演習を行いました。

- ・災害対策本部に必要とされる役割の確認
- ・地震発生時の業務継続対応

ー演習4 (グループワーク)ー

ワークシート4

今後、自施設で訓練する際に、どのような点が活用できそうですか？

また、課題と感じたことはどのような点ですか？



ー演習4 発表・共有ー

ワークシート4



1. 令和3年度施設運営基準改正のポイント
～業務継続計画（BCP）策定取組～

2. BCP研修のポイント
・ 動画視聴/講義（企画～実施～振り返り～改善）

3. BCP訓練のポイント
・ 動画視聴/講義（企画～実施～振り返り～改善）

4. BCP机上訓練の演習
（1）自然災害BCP机上訓練の演習

（2）感染症BCP机上訓練の演習

5. BCMチェックシート

6. おわりに

4 (2) 感染症BCP机上訓練の演習

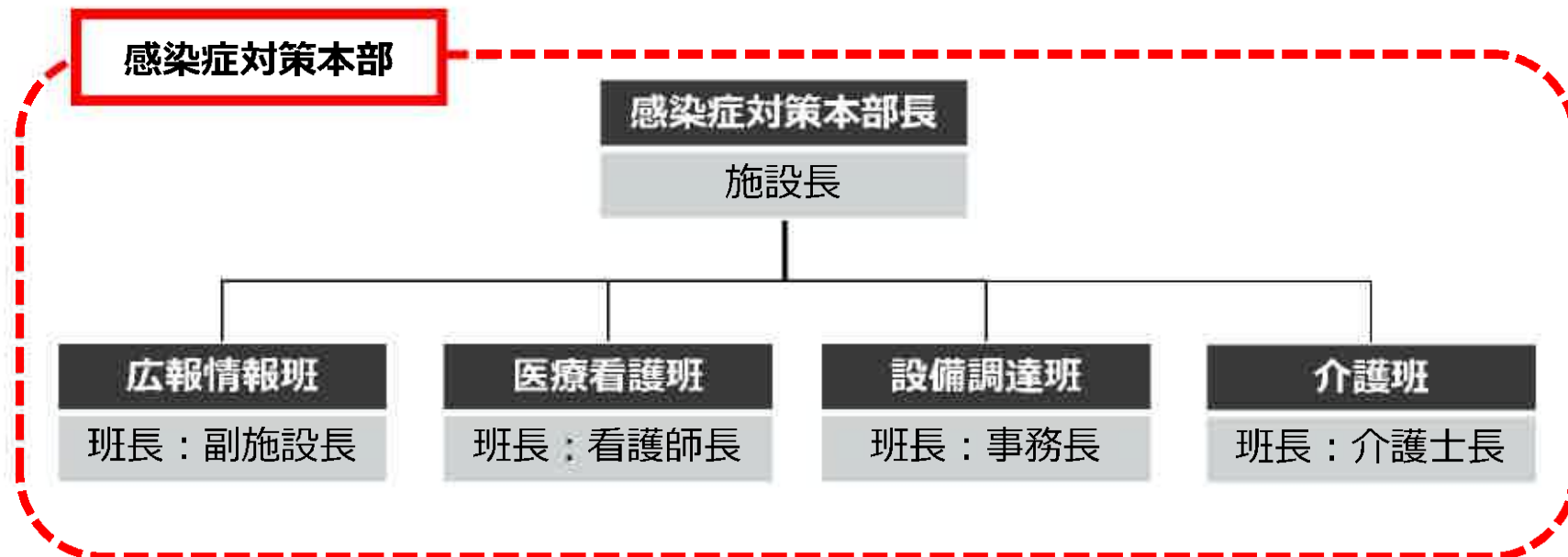
目的

- 感染症対策本部に必要とされる役割を確認する。
- 感染者疑い者が複数発生した場合の利用者サービス業務継続方法を検討する。

4 (2) 感染症BCP机上訓練の演習

訓練の対象

- 赤い点線で囲まれた感染症対策本部を対象とする。



ー演習5 (グループワーク)ー

ワークシート5

各グループ内で、感染症対策本部の役割を決めて下さい。

※人数が足りない場合は、対策本部長の対応なしとして進めてください。



4 (2)

感染症BCP机上訓練の演習

状況付与

“発熱の利用者を複数確認、初動対応を確認する”

介護職員Aは、2-8利用者2名B、Cさんが今朝から食欲があまりなく、ボーっとしがちなことに気づきました。検温をすると2名とも37度台後半だったため、フロア2の介護リーダーDに報告。

介護リーダーDは2西ユニット利用者全員の体調確認を指示し、2-3利用者1名Eさん、2-6利用者2名F、Gさんも微熱があることに気づきました。

状況

□6月17日（火）9:30

□2-8利用者B、C：体温37度後半、軽度倦怠感あり

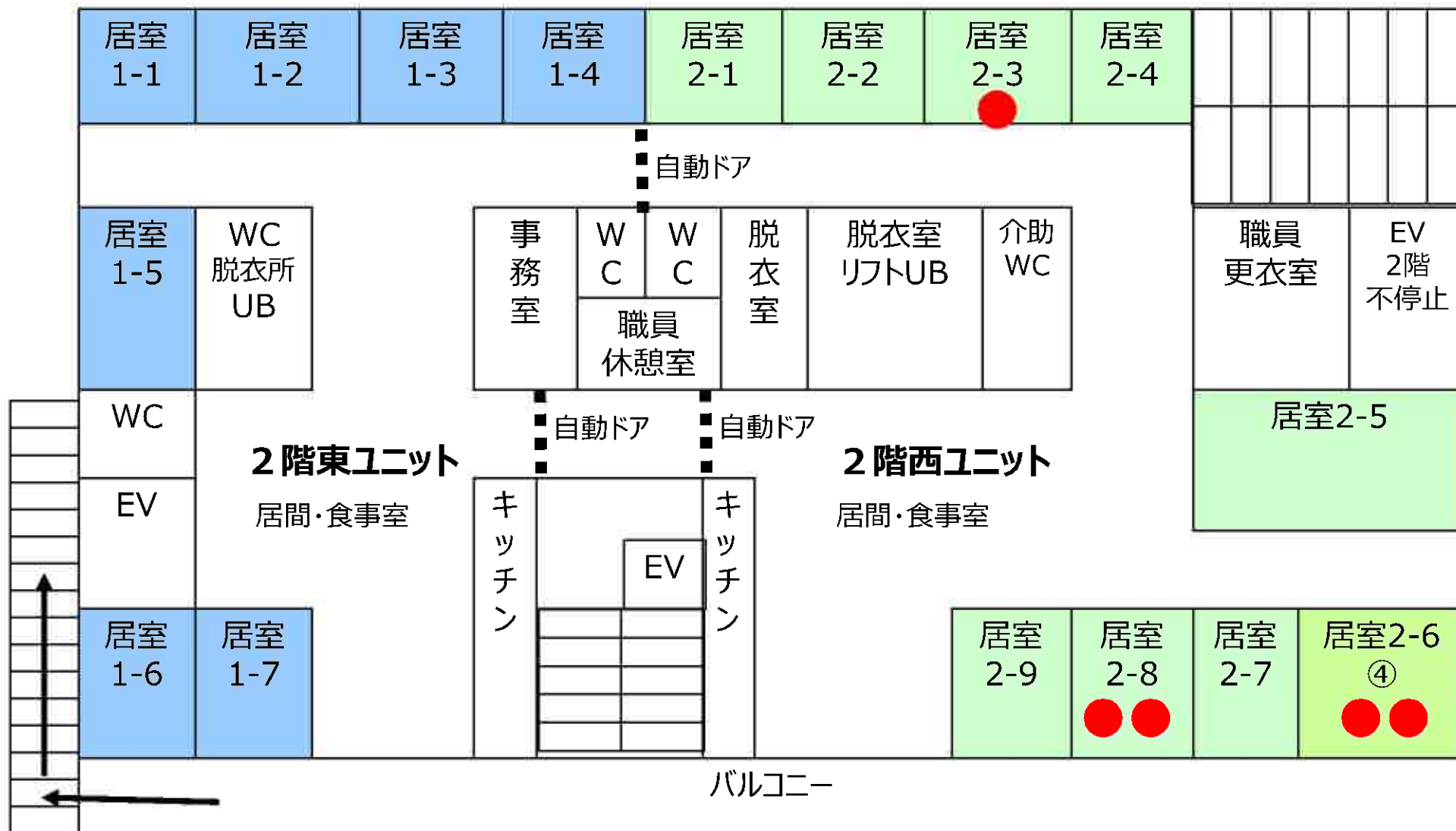
□2-3利用者E、2-6利用者F、G：体温37度台前半

介護リーダーDは看護師長に上記報告。看護師長は施設長に報告しました。

4 (2) 演習における設定

施設の間取り図_2階

●: 発熱の利用者



4 (2)

感染症BCP机上訓練の演習

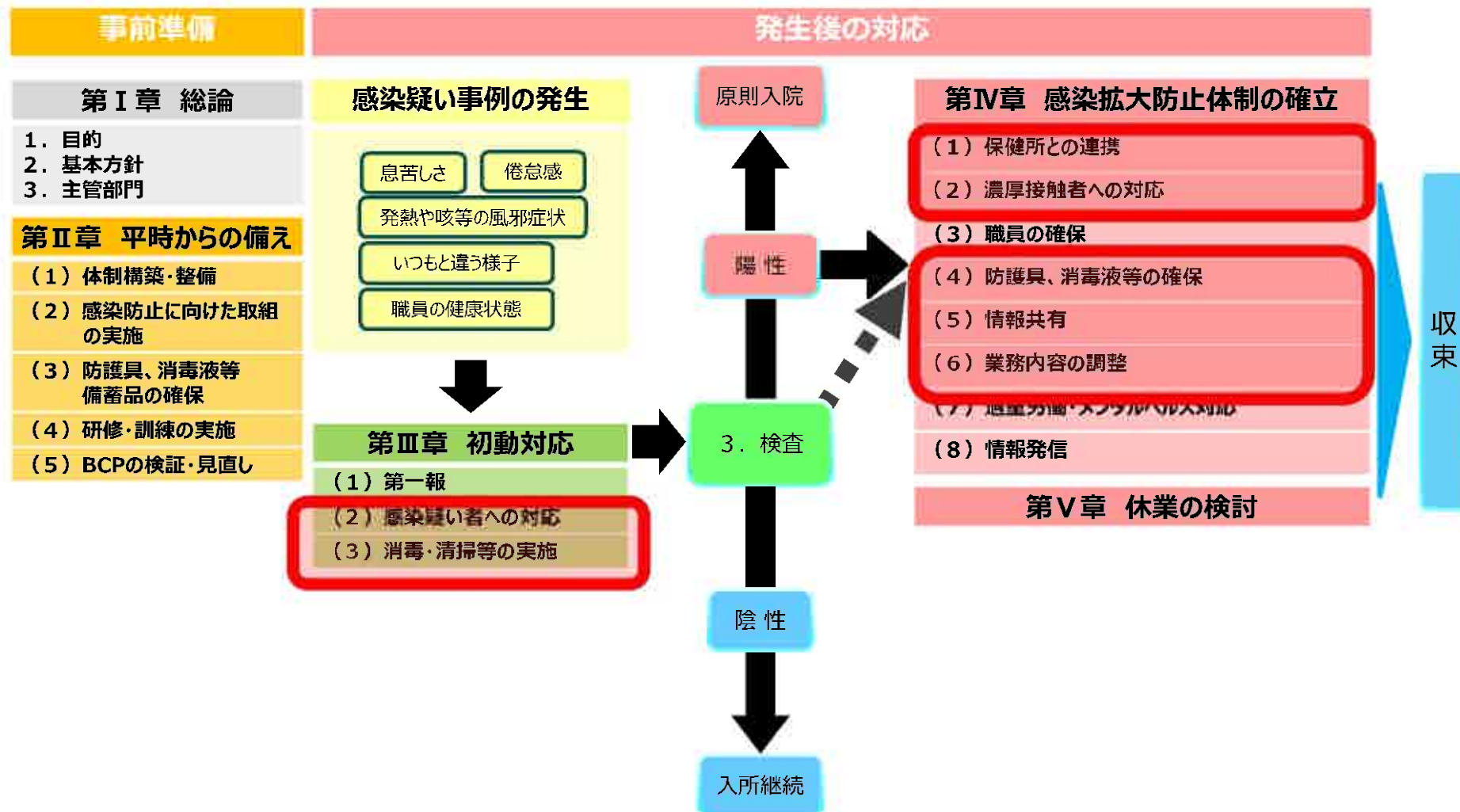
感染症BCPフローチャート（簡易版）



4 (2)

感染症BCP机上訓練の演習

感染症BCPフローチャート（簡易版）



4 (2)

感染症BCP机上訓練の演習

ー演習 6 (個人ワーク)ー

ワークシート6

演習 5 で決めた自身の役割において、どのような初動対応をすべきか
項目を洗い出して下さい。

特に介護班は、「業務内容の調整」における最重要業務(継続すべきサービス)は何かを考えてください。



役割	班長	主な対応事項	具体的な項目
対策本部長	施設長		
広報情報班	副施設長		
医療看護班	看護師長		
設備調達班	事務長		
介護班	介護士長		

ー演習 6 (グループワーク)ー

ワークシート6

それぞれの役割について対策本部内で共有し、施設全体の初動対応の流れを確認してください。



4 (2)

感染症BCP机上訓練の演習

-演習 6 - 感染症対策本部の初動対応 記載例 / 解説

ワークシート 6

	各班の主な対応事項	主な対応項目
対策本部長	<ul style="list-style-type: none"> (2) 感染疑い者への対応 (3) 消毒・清掃等の実施 (1) 保健所との連携 (2) 濃厚接触者への対応 (4) 防護具、消毒液等の確保 (5) 情報共有 (6) 業務内容の調整 	<ul style="list-style-type: none"> • 各班からの情報を統合し、全体像の把握 • 保健所からの指示を受け、施設全体としての方針決定 • 担当介護者の選定、シフト調整
広報情報班	<ul style="list-style-type: none"> (1) 保健所との連携 (5) 情報共有 	<ul style="list-style-type: none"> • 施設内での情報収集・共有 • 保健所、指定権者等関係機関への情報共有 • 感染疑い者の家族への連絡 • 必要に応じて外部関係者(出入り業者等)への情報共有

4 (2)

感染症BCP机上訓練の演習

-演習 6 - 感染症対策本部の初動対応 記載例/解説

ワークシート 6

	各班の主な対応事項	主な対応項目
医療看護班	<p>(2) 感染疑い者への対応</p> <p>(2) 濃厚接触者への対応</p> <p>(6) 業務内容の調整</p>	<ul style="list-style-type: none"> 施設全員の体調確認 受診の判断、医療機関への連絡、受診の手配 濃厚接触者の把握 個室管理/ゾーニング/コホーティングの指示 感染疑い者、濃厚接触者への支援方法の指示
設備調達班	<p>(3) 消毒・清掃等の実施</p> <p>(4) 防護具、消毒液等の確保</p>	<ul style="list-style-type: none"> 清掃・消毒箇所の把握、清掃・消毒の指示 防護具、清掃・消毒物品の配布、設置、在庫確認、調達 廃棄物の保管場所、廃棄ルート等の指示
介護班	<p>(2) 感染疑い者への対応</p> <p>(2) 濃厚接触者への対応</p> <p>(6) 業務内容の調整</p>	<ul style="list-style-type: none"> 担当介護者の調整 介護サービス業務の優先度を検討し、医療・看護班と連携して、感染疑い者、濃厚接触者への支援方法を明確にする 感染拡大防止策の徹底を指示する

4 (2)

感染症BCP机上訓練の演習

状況付与

“感染者・感染疑い者・濃厚接触者にどのように介護サービスを提供しますか”

食事介助や清潔ケア等提供するサービス内容は大きく変わりませんが、環境や方法は調整が必要です。

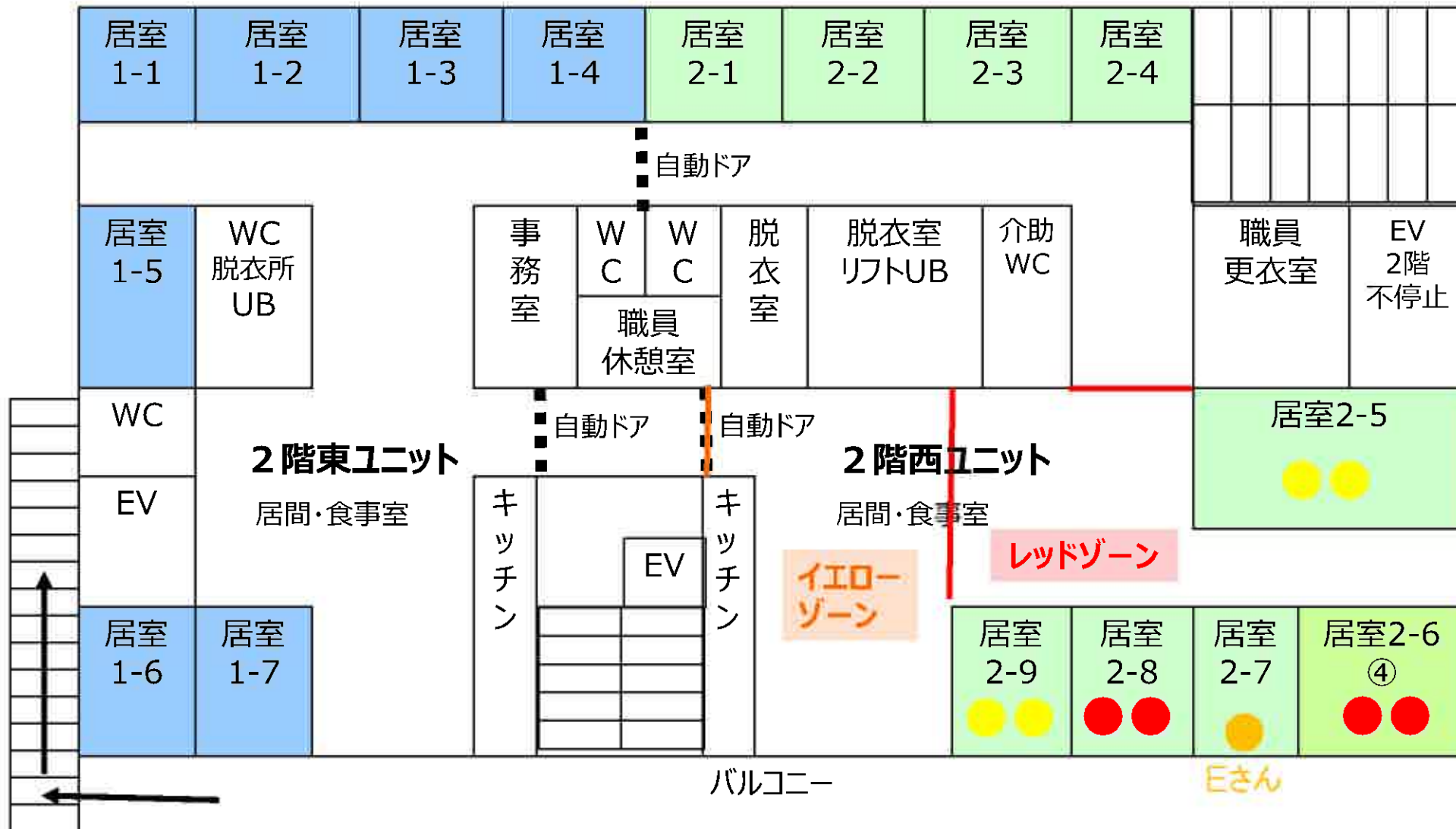
状況

- PCR検査結果：利用者B、C、F、Gさん4名陽性、
2-3利用者Eさんのみ陰性
- 濃厚接触者：利用者4名、職員0名
- 感染者・感染疑い者・濃厚接触者全員、現時点で日常生活に
大きな影響はなし
- 現在勤務中の職員の体調：全員問題なし
- ゾーニングを行った

4 (2) 演習における設定

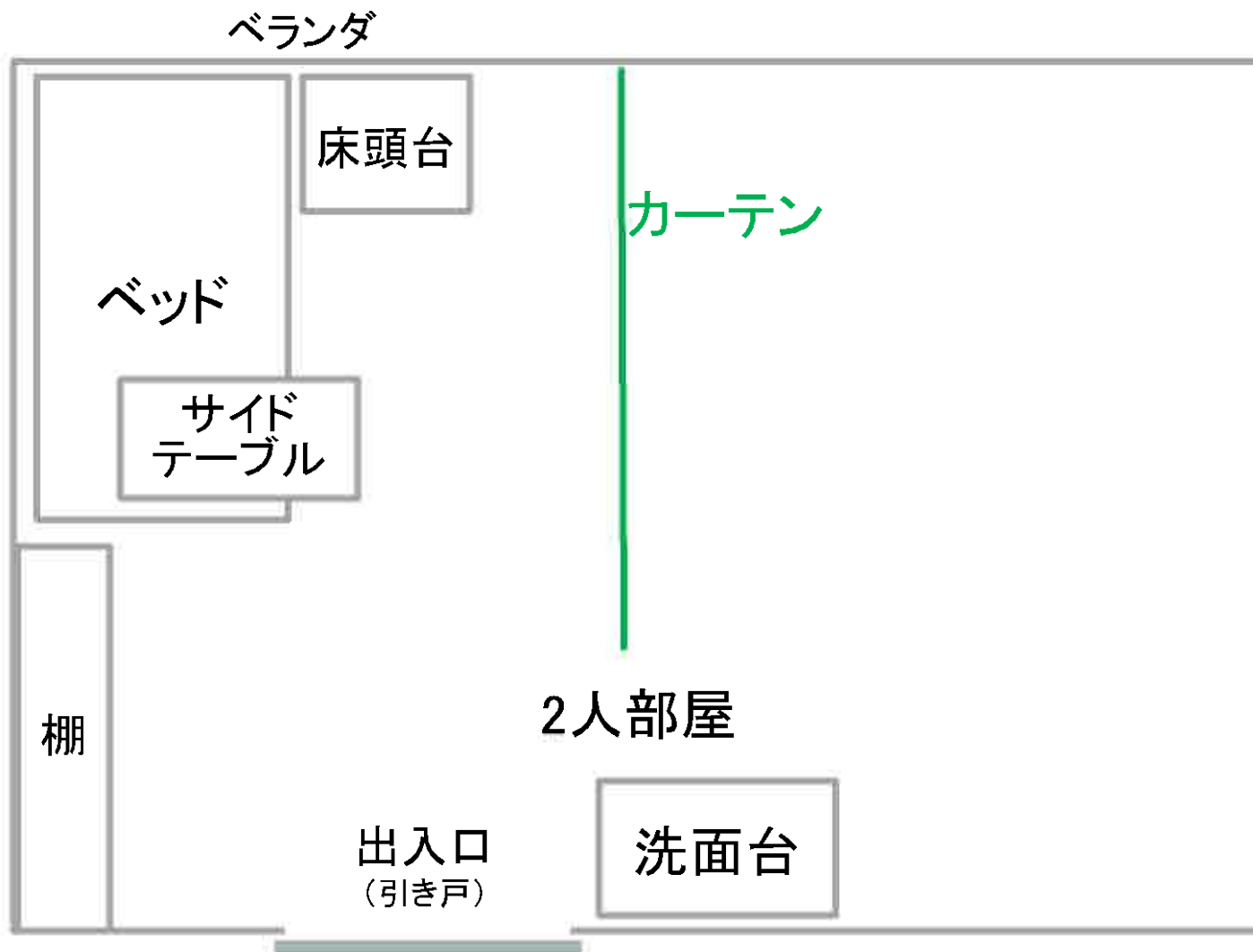
施設の間取り図_2階

●発熱の利用者 ●濃厚接触者



4 (2) 感染症BCP机上訓練の演習

居室(2人部屋)



4 (2)

感染症BCP机上訓練の演習

ー演習7(個人ワーク)ー

ワークシート7

演習5で決めた自身の役割において、以下の業務を継続するために
どのように対応すべきか記載して下さい。

通常と異なる点を意識しながら、「どのように」という手順をできるだけ具体的に
考えて下さい。

- ①居室の環境整備
- ②生活支援(医療的ケア・与薬、食事、排せつ)



業務	主な対応事項	対応手順
居室の環境整備		
生活支援 ・ 医療的ケア・与薬 ・ 食事 ・ 排せつ		

ー演習7(グループワーク)ー

ワークシート7

それぞれの役割について対策本部で共有し、施設全体の業務継続方法を
確認してください。



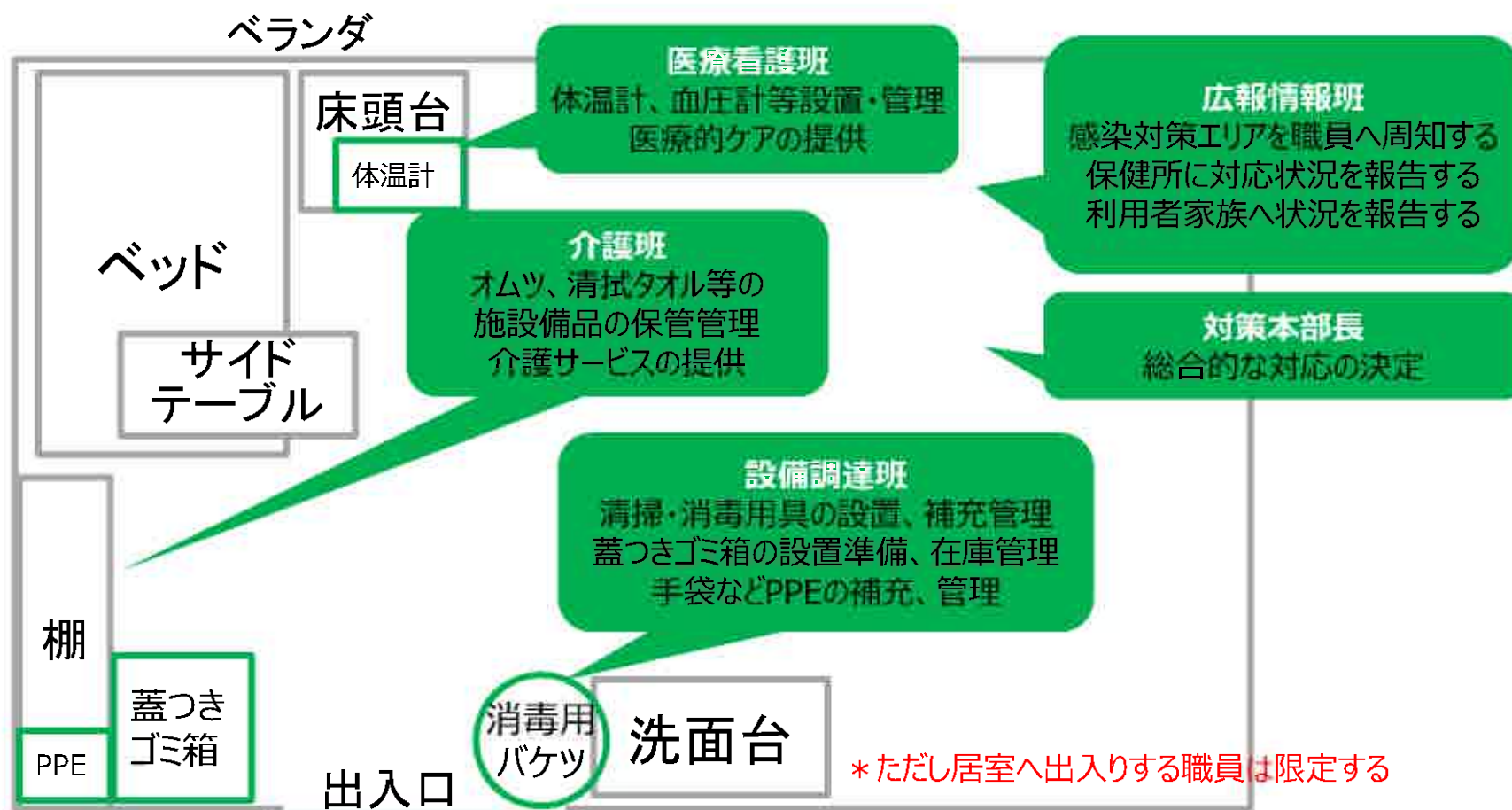
4 (2)

感染症BCP机上訓練の演習

-演習7-業務継続方法 記載例/解説①居室の環境整備

ワークシート7

- ✓ 個室管理が基本、だが難しい場合は距離、遮蔽、マスク着用等により対策を講じる
- ✓ 必要物品は極力室内に設置する（他の利用者と共用しない）
- ✓ 廃棄物の管理を徹底する。また廃棄物の保管場所・搬送ルートを明確にする



4 (2)

感染症BCP机上訓練の演習

-演習7-業務継続方法 記載例/解説②生活支援

ワークシート7

- ✓ 医療的ケア、与薬
 - 最優先事項。適切にPPEを装着し実施する。ただし、状況に応じてはかかりつけ医に頻度、方法の変更が可能か相談する
 - 訪室回数を少なくするため、極力支援をまとめて行う

- ✓ 食事
 - 配膳ワゴンはイエローゾーンまでとし、介助担当者がレッドゾーン内に持ち込む
 - 使い捨て容器を使用し、食事後は蓋つきゴミ箱に廃棄する
 - 必要に応じて介助者はPPEを装着し、1対1で介助する
 - ゴミは袋を2重にして口を縛り、ベランダに設置する物置に保管する

- ✓ 排せつ
 - オムツは感染性廃棄物として蓋つきのゴミ箱に廃棄する
 - トイレはレッドゾーン内の決められたトイレを使用する
 - 汚染された衣類は袋に密閉し、個別に洗濯する

4 (2)

感染症BCP机上訓練の演習

振り返り

今回の演習では以下の2点について訓練の演習を行いました。

- ・感染症対策本部に必要とされる役割の確認
- ・感染疑い者発生時の業務継続対応

ー演習8 (グループワーク)ー

ワークシート8

今後、自施設で訓練する際に、どのような点が活用できそうですか？

また、課題と感じたことはどのような点ですか？



ー演習8 発表・共有ー

ワークシート8

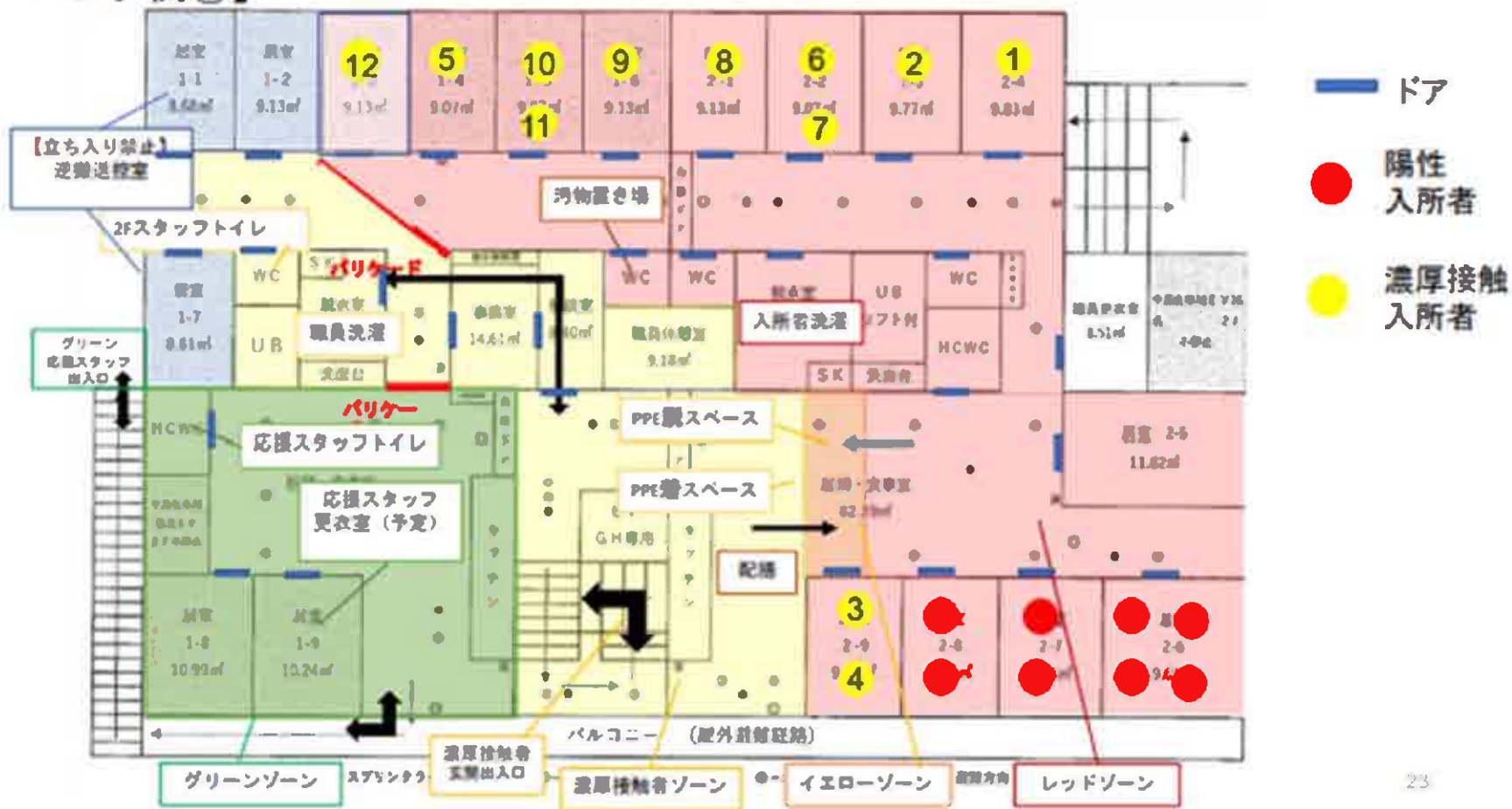


4 (2)

感染症BCP机上訓練の演習

参考：ゾーニング

【設問4解説】ゾーニングを考えてみよう <全体のPCR結果が出た時点>
 【ゾーニング例②】



1. 令和3年度施設運営基準改正のポイント
～業務継続計画（BCP）策定取組～

2. BCP研修のポイント
・ 動画視聴/講義（企画～実施～振り返り～改善）

3. BCP訓練のポイント
・ 動画視聴/講義（企画～実施～振り返り～改善）

4. BCP机上訓練の演習
（1）自然災害BCP机上訓練の演習
（2）感染症BCP机上訓練の演習

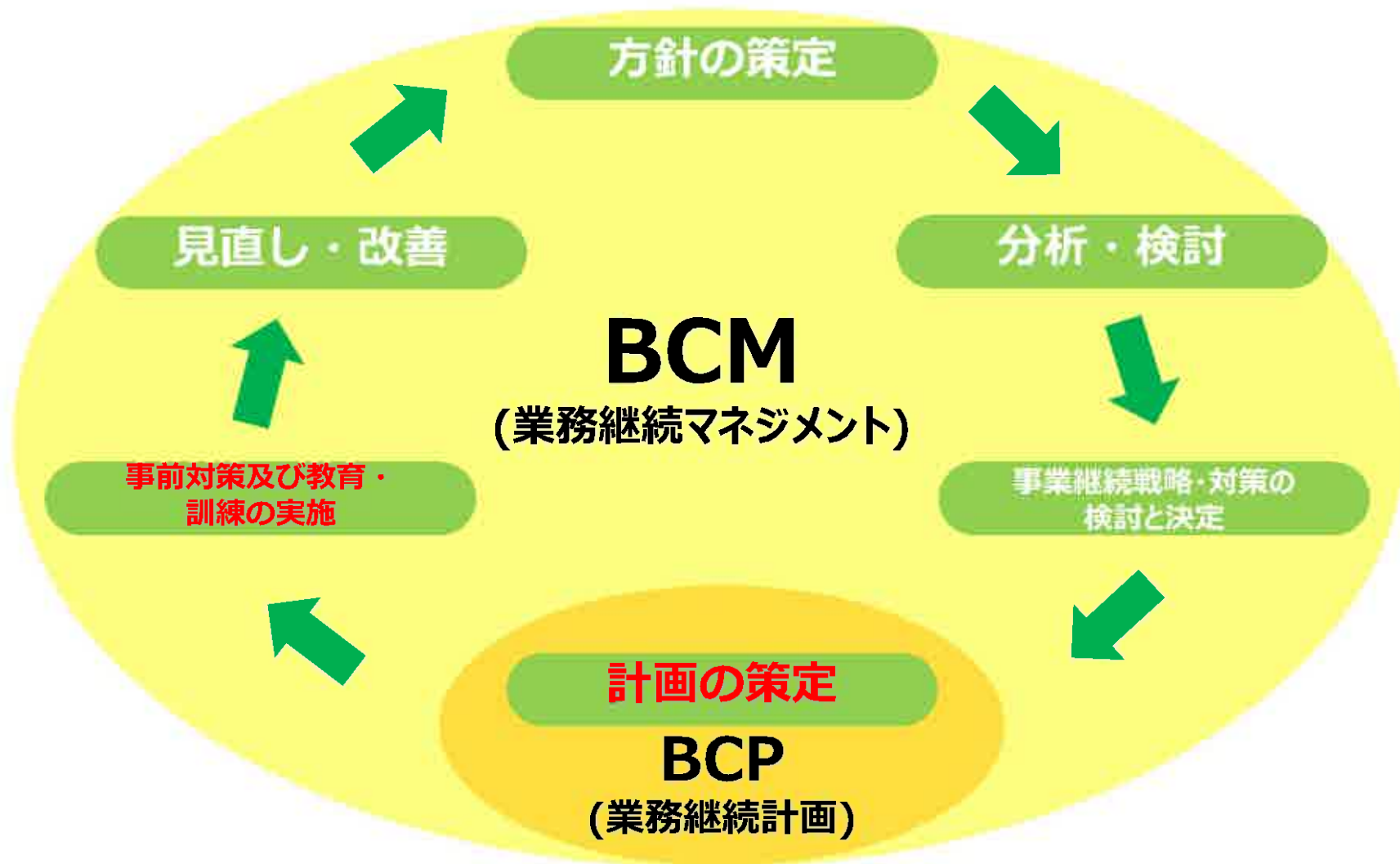
5. BCMチェックシート

6. おわりに

5

BCMチェックシート

事業継続の取組みはBCPだけでなく、BCM(Business Continuity Management)のプロセスを繰り返すことによりレベル向上を図っていくことが重要です。



東京都高齢者施設等BCP策定支
援事業 BCMチェックシート



1. 令和3年度施設運営基準改正のポイント
～業務継続計画（BCP）策定取組～

2. BCP研修のポイント
・ 動画視聴/講義（企画～実施～振り返り～改善）

3. BCP訓練のポイント
・ 動画視聴/講義（企画～実施～振り返り～改善）

4. BCP机上訓練の演習
（1）自然災害BCP机上訓練の演習
（2）感染症BCP机上訓練の演習

5. BCMチェックシート

6. おわりに

1. BCPの研修方法が理解できる
2. BCPの訓練方法が理解でき、
自施設で実施する際の具体的なイメージを持てる



自施設・事業所のBCP研修/訓練の実施につなげる

おわりに 実践講座のまとめ

✓ 研修のポイント

- **目的**を明確にする：誰に、何を、学んでほしいのか？
- **評価**を行う：研修の改善、訓練へつなげる

✓ 訓練のポイント

- **目的**を明確にする：誰に、何を、学んでほしいのか、**BCPの課題の洗い出し**
- **参加者自身が情報を分析し、対応を考えられるようにする**（本日の演習）
- **評価を通じて、BCPの改善につなげる**



自施設・事業所のBCP研修/訓練の実施につなげましょう